SHIBETSU ROTARY CLUB DISTRICT 2500 JAPAN

士別ロータリークラブ会報

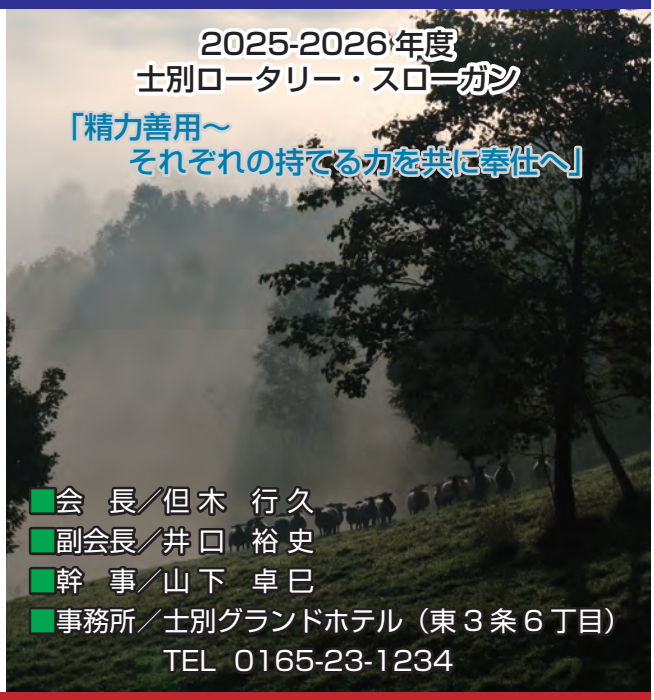
Vol.005　No.2897　創立 1960・3・24　R I 第 2500 地区

2025-2026 年度 国際ロータリー・テーマ
会長 フランチェスコ・アレッツォ
「よいことのために手を取り合おう」

UNITE FOR GOOD

2025-2026 年度 RI2500 地区・スローガン
「Rotary のことを熱く語ろう！
～ Rotarian Benefits を紡ぎ、そして育むために～」

■R I HP　https://www.rotary.org/ja
■2500 地区 HP　https://2025-2026.rid2500.jp/
■士別 RC HP　http://www.douhoku.jp/sibeturc/
■例会場／士別グランドホテル
■例会日／毎週月曜日　12：10 ～ 13：10



■会　長／但木　行久
■副会長／井口　裕史
■幹　事／山下　卓巳
■事務所／士別グランドホテル（東３条６丁目）
TEL　0165-23-1234

第 2990 回例会　2025 年8月 25 日（月）
今日のプログラム：移動夜間例会

●前回（8 月 18 日）の記録／例会・会員卓話・結婚記念日祝

司　　会　片庭隆暁　会場監督
斉　　唱　我らの生業・四つのテスト
本日の出席　会員 45 人中　出席者 33 名　出席率 73.33%　修正 77.78%
本日の欠席　榎本實男、大橋直幸、北村浩史、工藤雅史、國森和磨、田中道也、大野裕一郎、中山義隆、奈良康弘、深尾幸夫、山口哲雄、宍戸　淳
ゲ　ス　ト

ニコニコ BOX　織戸俊二（孫が第 76 回北海道中学校軟式野球大会全国大会出場）
千葉洋介（第 47 回岩尾内湖水まつり終了御礼）

累計 83,000 円

●例会予定

◆9月例会（基本的教育と識字率向上月間）

■9月　1日 ㈪　例会・理事会
■9月　8日 ㈪　例会
■9月１５日 ㈪　休会（法定休日：敬老の日）
■9月２２日 ㈪　特別休会
■9月２９日 ㈪　夜間例会

◆10 月例会（地域社会の経済発展月間）

■10月　6日 ㈪　例会・理事会
■10月１３日 ㈪　休会（法定休日：スポーツの日）
■10月２０日 ㈪　夜間例会
■10月２７日 ㈪　早朝例会

■会務報告・・・・・・・但木行久　会長

お盆も終わり、皆さん、お墓参り等、ご先祖の供養をされたことと思いますが、今日は、お盆明けということで、但木家の先祖自慢のお話を聞いていただこうかと思いますのでお付き合い願います。
私たちの家族の歴史や先祖の生き方には、今の私たちにとっても大切な教訓が、たくさん詰まっています。
幸いにも、但木家の系図は、菩提寺に残っていた過去帳のおかげで、ルーツをたどることができています。
但木家代々の先祖のお墓は仙台市青葉区にある、資福寺という臨済宗のお寺で、この資福寺は当時、仙台伊達氏の移封とともに、米沢から仙台に移され、
仙台藩祖である、伊達政宗の幼少期の教育係であった、虎哉宗乙（こさいそういつ）は、資福寺の住職でもありました。
もとを糺せば、但木家は、下野国足利郡但木邑、現在の栃木県足利市に起こり、伊達家が伊達姓を名乗る前の伊佐氏と称していたころ、八千石の地を領し、現在も足利市の中に但木町という地名が残っております。時はさかのぼり、1189 年源頼朝による、義経追討より繋がる、奥州藤原家討伐に従軍し、軍功をあげ、その頃より、伊達家家臣として、東北の地に移り住んでいます。
江戸幕府誕生と共に、1601 年伊達政宗が藩祖となる時代背景の中、但木家は代々、仙台藩の宿老職を務め、現在の、宮城県黒川郡大和町を拝領し幕末まで歴史は続きます。
1868 年より始まる幕府軍と明治政府軍の戦いとなる戊辰戦争時には、最後まで政府軍に抵抗した会津藩の、赦免嘆願を行うため結成された、奥羽越列藩同盟 34 藩の盟主となる、仙台藩の中心で動いていたのが、宿老職であった、我が先祖の但木土佐守成行でありました。
成行は、藩内で保守中道を貫き通し、降伏派と対立しながら、明治政府と戦いましたが、同盟軍の降伏、敗戦の中、仙台藩主　伊達慶邦の決断を受け降伏し、その後、成行は反乱の責任者として新政府に引き渡され、東京に拘禁され、明治２年５月 19 日、反逆首謀の罪で、当時麻布にあった、仙台藩下屋敷において斬首刑に処されました。享年 53 歳でした。
【勝てば官軍負ければ賊軍】のとおり、奥羽越列藩同盟」結成の主導者であり、藩主に責任が及ばぬよう国事犯として処刑された、成行は薩摩・長州史観により歴史上、厄介な存在として歴史の表舞台にはあまり出てきません。
その後の旧幕府軍は、仙台港を出港し、最後の激戦地となる函館へ向かうことになります。
新選組副長である、土方歳三も、この船に乗り、生き残った新選組隊士を引き連れて最後の戦場となる函館で戦死しました。
終戦後、仙台藩は領地を没収され、領民の生活の場を求めて、北海道の開拓を選択します。
当時、自ら開拓した土地は所領とすることができ、又、武士としての身分も保証されたといいます。
ここに登場した、但木成行は、わずか 150 年前の、私の分家筋の先祖に当たります。
ちなみに過去帳から分かる範囲でいえば、自分が但木家の 17 代目に当たり、但木家は代々、行人偏の【行・行く】という字を継承しています。
系図をたどれば、上から、友行、五郎右衛門、満六、久隆、定久、行直、行恒、行正、行隆、行廣、行章、行健、行豊、行厚、行雄、行敏、そして自分、行久と続き、息子と孫も【行】の字をいただき、息子は行龍、孫が 19 代目の行馬となります。
これからも、ご先祖様あっての、現在の自分たちがあることに感謝することを忘れず、誇りをもって、日々努力精進していきたいと思います。

■幹事報告・・・・・・・山下卓巳　幹事

①８月のロータリーレートは 149 円です。
②第 2500 地区地区大会ついて、現在参加者の取りまとめを行っています。8 月 22 日まで欠席の方も連絡をお願いいたします。尚、地区大会登録料・参加拠出金を含む金額は 16,000 円。ホテル代は朝食付き 10,200 円のホテルを仮予約しております。ホテル予約希望の有無も記入してください。行き帰りの車につきましては後日ご相談させてください。
③25 日の夜間例会は移動例会を開催いたします。
22 日までに出欠をお知らせください。尚、当日欠席の場合は 15 時までに私まで連絡をお願いいたします。送迎バスは 17 時 40 分に士別グランドホテルを出発いたします。

■委員会報告・・・田中洋和　前年度会計

2024 ～ 2025 年度、一般会計決算報告（別紙参照）
田中洋和前年度会計から昨年度の一般会計の決算報告並びに余剰金の処理、基金等について報告がありました。

■会員卓話・・・・・・・加藤洋之　会員

皆さま、こんにちは。
本日はこのような場でお話しの機会をいただき、ありがとうございます。
私は塗装業を営んでおり、仕事を通じて感じてきたこと、そして人生観に通じる学びを、

今日は少しお話しさせていただきます。
先ずは自己紹介させていただきます。
加藤洋之　昭和 50 年 12 月 30 日生まれ　今年で 50 歳になります。年末の忙しい時期に生まれております。職歴は札幌で設備屋さん就職後、待遇の面で喧嘩をして退職しまして、士別に戻って同じく設備屋さんの（株）ニッケンに勤めました。円満退職の後、資格取得のためと言われ腰掛けで（株）カトウに就職したはずでしたが、気がつくと現在と至っております。建設業界に入りようやく 30 年となるまだまだ若輩者ではありますが、少しだけお話にお付き合いください。それでは本題のお話をさせていただきます。

塗装という仕事は、一見すると「色を塗るだけ」と思われがちです。
しかし実際には、建物を雨や風、紫外線などから守り、建物の寿命を延ばす、とても重要な役割があります。
塗装工事で大切なのは「仕上げの美しさ」と思われがちなのですが、それよりも大切なのは「下地の準備」です。
どんなにきれいに色を塗っても、下地がしっかり整っていなければすぐに剥がれてしまいます。
実際にお客様のお宅に見積に伺ったときに目にしておりますが、下地の処理を怠ったものや間違えたものは剥がれたり浮いたりと目も当てられない状態となり余計な金銭がかかる結果となります。
これは人や会社の信頼関係にも似ていると感じています。
見た目だけを整えるのではなく、見えないところにどれだけ時間と手間をかけるかで、長い信頼につながると考えております。
私は仕事を通じて、「継続していくことの大切さ」を強く感じています。
一つ一つの現場は小さな積み重ねですが、誠実に仕上げていくことで、お客様の紹介や地域からの信頼につながってきました。
父のしてきた事を振り返ると感じるのですが、人生も同じなのだなと感じております。
派手な成功より地道な積み重ねが、後々の大きな成果や人とのご縁につながっていると感じました。
自分がロータリクラブの会員にしていただいた事も父がしてきたことのご縁の一つだと思っております。
経営している立場にいると、どうしても目の前の成果を追いがちですが、結局は「信頼を積み重ねること」が最も強い土台になるのだと実感しています。
塗装の下地づくりと同じように、人生や経営も「目に見えない部分の努力」が大切だと思います。
そしてその積み重ねが、人と人との信頼を生み、会社や人生を支える大きな力になっているのが事実です。
父は生前「いただいた義理や筋や恩と言ったものは絶対守って生きなければならない」と言っていました。それを守りこれからもコツコツと努力や学びを怠らず励んでいこうと思います。
本日は短い時間でしたが、私が仕事から学んだ人生観をお話しさせていただきました。
ご清聴ありがとうございました。

■８月の結婚記念日

財団米山奨学委員会・近藤峯世　委員長

片庭隆暁 会員
法邑和浩 会員
中山義隆 会員（欠席）